

前橋文学館報

萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち

No.6 1997.3



自転車と海

「今日ヨリ自転車ヲ習ハント欲ス。貸自転車屋ニ行キテ問ヘバ、損料半日二十銭也ト言フ。ヨリテ一台ヲ借り、附近ノ空地ニ至リテ稽古ス。操縦スコブル至難。ペタルヲ踏メバ忽チ顛倒ス」

昭和十三年の「日本への回帰」にある、萩原朔太郎の文章である。水泳の場合、成人してからの習得は至難といわれているが、自転車はどうなのだろう。他の人は知らず、朔太郎は、おそらくだめだったのではないか。失礼ながらそう予測していたところ、四日後にこういう記述があつておどろかされる。「今日初メテ正常ニ走ルヲ得タリ。快言フベカラス」

おや？ 朔太郎にもこういう面があつたのか、それは意外、と思つて次を読むと、「然レ共コレ直行ノミ。曲折セントシテ把手ヲ転ズレバ、瞬間忽チニシテ顛倒ス」

やっぱり朔太郎だ、結局だめだったのだろうと、またも予測していると、なんとこの直後に立派に乗れるようになるのである。「余コレニヨリテ（コレというのの弟のアドバイス）物理ヲ理解シ、初メテヨ

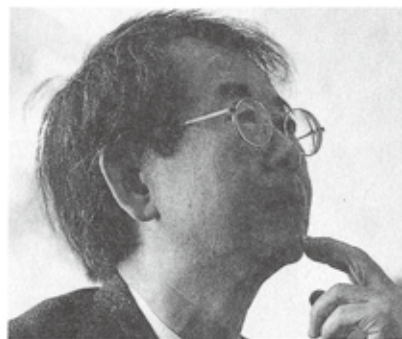
ク要領ヲ得ルヲ得タリ。即チ場内ヲ一周シ、自由ニ操縦シテ誤ルコトナシ。内心ノ得意言フベカラス」

このあと朔太郎は路上に出るが、「忽チ坂道ノ傾斜ニ会」し、自転車は止まらなくなつて崖に衝突、「車体弓ノ如ク湾曲シ、余ハ路上ニ落チテ数ヶ所ノ打傷ヲ負ヘリ」ということになるのだが、とにかく朔太郎は自転車に乗つた。朔太郎の場合、これが何だか、壮挙という感じになるからおかしい。

私が最後に自転車に乗つたのは、昨年の四月八日である。夜、微醺びくんを帯びて、私は自転車を押して歩いてきた。こういうときは、間違つても乗つてはいけない。途中に道路工事をしているところがあり、私は気をつけてゆっくりと歩いた。それなのに、なんとなく重心がこちらの方へ行つて、私はハンドルを握つたままゆつくりと向こう側に倒れた。すると地面に鋭い金属があつて、指のつけねがばつくりと切れた。たちまち右手は血だらけである。こういうことには慣れてはいるが、その夜家内から、自転車にはもう乗らないでほしいと言われた。乗らないで押

して歩くことも禁止。以来自転車には触れていない。高校生のとき、歩道を自転車ですわって、居酒屋の大きな赤堤灯ちやうちんに衝突した。そのとき車の免許は絶対にとるまいと決心した。同時に、教師にもなるまいと思つたが、教師と車の免許、それと赤堤灯がどんなにかわりがあつたのか、忘れてしまった。いま、教師ではない、自転車に乗らない私がいるだけである。赤堤灯のある店には、ときどき静かに入る。

二月一日の、前橋文学館での富沢智さんとの対談を終えて、四日後私はハワイへ行った。ハワイを選んだのは娘たちと家内だが、私は何処でもいい、何処かへ行つて気分をすこし変えたかつた。私はこの十年に、七冊の詩集とそれぞれ一冊の詩画集と物語、二冊のエッセイ集を出しているが、私の中にはまだ



撮影：平山利男

おさまりがつかないものがあり、それを書くために何とかが自分の転換を計らねばならない。

私はワイキキで、そろそろと海に入った。網膜剝離はくりをやつてから、激しい運動は禁じられている。頭から水に飛び込むなどはもつてのほかである。それに左肩から腕にかけて、成田を飛び立つあたりから、首を動かすと痛みが走るようになっていた。海に入つても泳ぐことができない。私は胸のあたりの深さのところ、沖や、浜辺の建物やその向こうの丘、それから砂浜の体格のいい外国人たちを眺めた。ときどき眼鏡を右手に持つて、何度も頭まで海に沈めた。翌日は一人でシューティングクラブへ出かけ、ライフル、リヴォルヴァー、オートマチックと、三種の銃を次々に発射した。

●つじ ゆきお

1939年(昭和14)、8月14日東京浅草生まれ。明治大学文学部卒業。

在学中に第一詩集『学校の思い出』(1962)を出す。その後、『天使・蝶・白い雲などいくつかの瞑想』『かぜのひきかた』(1987)で第25回藤村記念歴史賞を受賞し、『ヴェルレーヌの余白に』(1990)では第21回高見順賞を、『河口眺望』(1993)では第44回芸術選奨文部大臣賞・第9回詩歌文学館賞を受賞。1996年(平成8)、詩集『俳諧辻詩集』で第4回萩原朔太郎賞・第14回現代詩花椿賞を受賞。

詩集は、他に、『いまは吟遊詩人』(1970)、『隅田川まで』(1977)、『落日』(1979)、『鶯——こどもとさむらいの16篇』(1990)、『ボートを置くおばさんの肖像』(1992)、『辻征夫詩集成』(1996)等、多数。

またエッセイ集に『ロビンソン、この詩はなに?』(1988)、『かんたんな混沌』(1991)があるほか、物語『絵本摩天楼物語』(1995)、詩画集『かぜのひきかた』(1988)などもある。

辻 征夫